Title: 海外フィールドワーク引率ブログ2012







● 最近のエントリー

Day 100 102, Vol.2 TUNI, INDIA

● アーカイブ

□ 2012年07月 □ 2012年06月 □ 2012年05月 □ 2012年04月 □ 2012年03月

● 投稿カレンダー

○ カテゴリー一覧

字版人日本写真芸術専門学校 NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE





12.06.29

Day 100_102, Vol.2 TUNI, INDIA

Tweet

Check



引率 富田です。

This is TOMITA from Kolkata.

孤児院での社会貢献活動2日目。

The second day of the activity in ASHIRVAD.

孤児院の場所を伝えることに毎回苦労しながらも、オートリキシャで向かいます。

It was too hard for us to tell a rikisya-driver where is our destination.







孤児達全員を漏れなく撮影するため、一人一人から名前を聞き、 名札を作って胸に張っていきます。

For taking all of children's photos, Tanise made name cards.



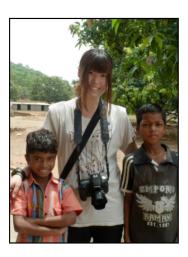


子供達と→緒になって撮影していきます。

They took many photos with children.



















折り紙を教えたりしながら、撮影を進めていきます。 Nagayama taught children how to make origami bird.







そしてさっそくセレクトを始めようとしたのですが.....

After shooting, they tried to start adopting photos....







停電のため、パソコンもブリンターも使用不可能に...

They could not use their PC and printer any more because of the power cut....









孤児院でのブリントはあきらめ、ホテルに戻って作業を進めます。 セレクト、ブリント、そしてコルクボードに貼るところまで、 翌日の明け方近くまでかかって完成させました。

After came back to the hotel,they proceeded with their works until next early morning.







そして最終日

On the final day of their activity.

学校に向かう子供達に別れを告げ、ラジャさんに完成した写真を渡しました。

Finally, they presented Mr.RAJA with a handmade Photo boards.















慰涛の3日間でしたが、孤児たちと触れ合うことで3名共に多くのことを感じ、 そして考えた日々でした。

ラジャさんをはじめ孤児院で出逢ったすべての人々に感謝です。

Staying Tuni and ASHIRVAD it made us think about many things.

We appreciate the help given by Mr.RAJA and we also give thanks that all of children exists.

12.06.28 Day 100_102, Vol.1 TUNI, INDIA

Tweet

Check



引率 富田です。

This is TOMITA from Kolkata.

アンドラブラディーシュ州トゥニでは、長山さん、谷瀬さん、井関さんの 3名が社会貢献活動を行いました。

井関さんの取材先である孤児院「ASHIRVAD CHILDREN HOME」において、 孤児達の写真を撮影し、それをプレゼントするというものです。

At TUNI, Andhra Pradesh State, Nagayama, Tanise and Iseki organized activity that benefit society by photography.

The place they did it was the orphanage where Iseki stayed in for her shooting.

6月 22日 長山さんと谷瀬さんがトゥニに無事到着。

Nagayama and Tanise arrived at Tuni safely.



外国人などまず訪れることのないトゥニ。 少し町を歩くだけで大騒ぎです。

There are only few tourist (almost nobody) in this town....









翌 23日 井関さんの待つ孤児院へと向かいました。 オートリキシャを捕まえてたどり書くだけで一苦労でした。

23th June We visited the orphanage.

さっそくラジャさんにご挨拶。

First, they went to meet Mr.RAJA.



そして福児院のスタッフや学校に行かずに残っている孤児達とコミュニケーションを はかります。 もちろん婚託も同時通行です。

They tried communicating with talk and taking photos.











このASHIRVAD CHILDREN HOMEは、トゥニ郊外の村の中にあり、 ほとんどの孤児達が学校に行っている日中は、とてものどかな雰囲気です。

The orphanage ASHIRVAD CHILDREN HOME is in the small village outside of Tuni. $\label{eq:children} % \begin{array}{l} \left(\left(\frac{1}{2}\right) - \left(\frac{1}{2}\right) -$



















午後4時すぎ 子供達が学校から戻ってきました。

4 pm Children came back from school.

















約70名ほどの孤児速との顔合わせが終了し、翌日はいよいよ本格的な撮影を行います。

First day, they could say "Namaste!!" to all of children.

カテゴリ: post by 引率スタッフ | 日時: 2012.06.28 | <u>パーマリンク</u> | <u>コメント (の) | トラックパック (の)</u>

<u>海外フィールドワーク引率ブログ2012</u> > 2012年06月 アーカイブ

12.06.20

Day, 94, The way to TUNI, INDIA

Tweet

Check



引率 冨田です。

This is TOMITA from Tuni.

チェンナイにて解散後、井関さんと共に移動を重ね、 現在はアンドラブラディーシュ州のトゥニという町に滞在しています。

After Chennai, ISEKI and I moved to TUNI, Andhra Pradesh State.

まずはチェンナイからヴィシャカパトナムという港町へ飛行機で移動しました。

We flew to Visakhapatnam from Chennai.







ヴィシャカパトナムは地方の中規模都市といった印象です。

Visakhapatnam is quite big city.



ヴィシャカパトナムは地方の中規模都市といった印象です。

Visakhapatnam is quite big city.



翌日のトゥニへの移動に向け、駅で列車のチケットを探します。

For transfer to Tuni tomorrow, we went to railway station to get train tickets.







地元の人々と一緒に列に並びます。 Local people are waiting in line to get tickets.





近郊の町へのチケットは当日しか購入できないことがわかり、結局この日は チケットは入手できず…→

Finally we could not get tickets on this day....



そしてトゥニへの移動日。

オートリキシャで駅へ。

The day move to Tuni. We took an auto-rikisya to the railway station.





無事チケットも購入し、9時15分発の列車に乗り込みます。

After we bought tickets, we took the 9:15 train.



予定では1時間30分で到客するはずでしたが、結局2時間強で無事トゥニ駅に 到客しました。

We arrived at Tuni station after 2 hours.





トゥニ駅前の省に1泊した後、井開さんは取材先の孤児院へ向かいます。 After staying at toni town for 1day , ISEKI was going to an orphanage where she stay.



駅で担当の方を待ちます。



そしてようやく孤児院の責任者であるラジャさんに会うことができました。 With Mr.RAJA a person in charge of orphanage.





ここで井関さんを見送るはずでしたが、ラジャさんから強く誘われ私も孤児院を訪ねました。

I went to the orphanage with them.

到着後、子供達に連れられ孤児院のすぐ近くにある学校を訪問。

We visited small school near the orphanage with children.

飛び入りで参加した授業にて、「日本の歌を歌ってくれ」とせがまれる井関さん。

Teachers and children requested us to sing some japanese songs.





彼女が何を歌ったのかは、いずれ本人のブログで報告してくれるでしょう。 ちなみに、2人で一緒に『象さん』の歌も歌いました。

We sang a song that is japanese traditional song for children. $% \label{eq:children}%$



インドでの取材が本格的に始まっています。

Students have started to shooting in INDIA.

カテゴリ: post by 引率スタッフ | 日時: 2012.06.20 | <u>パーマリンク</u> | <u>コメント (の) | トラックバック (の)</u>

<u>海外フィールドワーク引率ブログ2012</u> > 2012年06月 アーカイブ

Day 91, From Malaysia to India

Tweet

Check

引率 富田です。

This is TOMITA from Chennai.

本日、マレーシアの学校施設を離れ、8カ国目となるインドへとやってきました。

 ${\sf Today} \ {\sf we} \ {\sf arrived} \ {\sf at} \ {\sf Chennai}, \ {\sf INDIA}.$

早朝6時、施設を出発。

 $6\,\mathrm{am},$ we left for the airport from the school facility.



午前7時過ぎ。空港にてチェックイン。

7am check in at the airport.



そしてインド時間の午前11時(マレーシア時間13時半) 無事インド・チェンナイに到着。

11am (1:30pm in Malaysia) We arrived at Chennai safely.





ATMでは苦戦しましたが、なんとかお金を下ろすことに成功。

We could get indian money from ATM with difficulty...



そしてようやくカレーにご対面。 今日からしばらくは右手が着の代わりになります。





海外フィールドワーク最大の山場と言っても過言ではないこの国での日々が、 いよいよ秦を開けました。

カテゴリ

post by 引率スタッフ | 日時: 2012.06.14 | <u>パーマリンク</u> | <u>コメント (2) | トラックバック (0)</u>

<u>海外フィールドワーク引率ブログ2012</u> > 2012年06月 アーカイブ

12.06.13

Day 84-86, Photo exhibition, Singapore

Twee

Check

引率 富田です。

This is TOMITA from Petaling Jaya, Malaysia.

シンガポールでの写真展の模様をお伝えします。 設営の翌日から、さっそく写真展を開催しました。 Today, I want to show the days of the exhibition.













学生たちは今年も浴衣で会場に立ちました。

Students changed into yukata Japanese summer kimono.





ブースの前を行き交う人々に声をかけ、自分たちの写真を見てもらいます。

Students invited people who come and go to let them watch the exhibition.

















写真展 2日 目 The second day of the exhibition.





オリンパス・シンガポールのジミーさんも駆けつけてくださいました。

 $\mbox{Mr.}$ Jimmy Loh, General Manager of Olympus Imaging Singapore PTE. LTD has come to watch their photos.





















写真展 3日目
The third day of the exhibition.



この日は土曜日ということもあり、入り口で入場制限が行われるほど多くの来場者で にきわっていました。

There were so many people in there.... Because it was Saturday.









































学生たちは、最後まで一人一人のお客さんに対して写真や学校の説明に励んでいました。 Students tried taking good care of people who came to watch photos.









多くの人々に写真を見て頂ける機会というのは、そう多くあるものではありません。 改めて、ご協力頂いた関係者の方々、そして会場で写真を見て学生たちに声をかけて くださった沢山のシンガポールの方々に感謝致します。

Again, I would like to show our gratitude for everyone who supported us.







カテゴリ:

post by 引率スタッフ | 日時: 2012.06.13 | パーマリンク | コメント (0) | トラックバック (0)

<u>海外フィールドワーク引率ブログ2012</u> > 2012年06月 アーカイブ

12.06.07

Day 83, Photo exhibition, Singapore

Twee

Check

引率 富田です。

This is TOMITA from Singapore.

ここシンガポールにて、海外フィールドワークにご協養いただいている オリンパス株式会社様、そしてOLYMPUS SINGAPORE様のご協力により、 これまでに訪れた6か国にで学生たちが撮影した写真を使用し、写真展を 開催しています。

Photo exhibition by students has started from June 7th in Singapore.

The exhibition has come about through the cooperation of Olympus Corp and Olympus Imaging Singapore Pte.Ltd.

展示した写真はすべて、オリンパス株式会社様よりご提供頂いているコンパクトデジタルカメラ『SH-21』によって撮影しています。

All photos exhibited there were taken using OLYMPUS SH-21 which were provided to the students by Olympus Corp.

また、写真の出力に使用したインクジェット用級は、マレーシアでのスクーリングに引き試き、株式会社PICTORICO機よりご提供頂いた『ピクトリコブロ・フォトベーバー』を使用しております。

Photo papers were provided by PICTORICO Japan.

海外で写真展を開催し、自身で操影した写真を見て頂くという貴重な経験ができるのも、 多くの方々のご協力があってのことです。 ご尽力を頂きました方々には、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

This exhibition was realized by many supports from many people, companies. Taking this opportunity, I'd like to show our gratitude and would like to say thank them very much for everything they did for us.

それでは昨日の設営の様子からご覧ください。

Today, I want to show the day of setting up for the exhibition.

東京より駆けつけてくださった無容局長と共に会場となる「サンテック コンベンション & エキシビション センター」へ。

そこで開催されるシンガポールにおける最大のIT見本市である『The PC SHOW 2012』に 出店するオリンパス様のブース内に、我々の展示スペースを設けて頂きました。

Mr.Kumakura came to Singapore to help the event. We went to the site Γ Suntec International Convention & Exhibition CentreJ .









会場に到着すると、さっそく写真を確認し、レイアウトを考えていきます。

After arrival at the site, the students started to set up the exhibition. First, they discussed about how to display the photos.





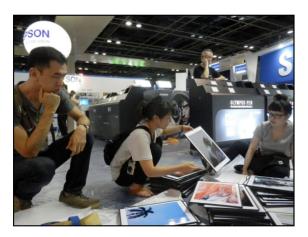








パネルと壁面のサイズを測りながら、写真の構成を考えていきます。







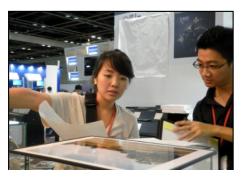
















設営後、オリンパス・シンガポールの表任者であるジミーさんより 夕食に招待して頂きました。

 $\mbox{Mr. Jimmy Loh, General Manager of Olympus Imaging Singapore PTE. LTD invited all of us for a dinner.$

碁替えを終えた学生たち。

The students changed their clothes for the dinner.

















本校の校長である竹内鍛信先生の写真集をジミーさんヘブレゼントしました。

 $\label{eq:mr.Kumakura} \mbox{Mr.Loh a photo book of Mr.Toshinobu Takeuchi who is principal of our school as a gift.}$







会場の準備を終えたオリンパス・シンガポールのスタッフの皆さんも合流。 準備の疲れも忘れ、これまでの学生たちの旅の話題で盛り上がりました。

Some other staff of Olympus joined us later. We had a great time talking about the students' experiences.







素敵なディナーをありがとうございました。

Thank them so much for inviting us for a dinner.

カテゴリ

post by 引率スタッフ | 日時: 2012.06.07 | <u>パーマリンク</u> | <u>コメント (0)</u> | <u>トラックバック (0)</u>

<u>海外フィールドワーク引率ブログ2012</u> > **2012年06**月 アーカイブ

12.06.06

Day 81, The Way to Singapore

Tweet

Check

引率 富田です。

This is TOMITA from Singapore.

マレーシアの学校施設を離れ、7カ国目シンガポールに来ています。

Now we are in Singapore. We moved to here from Petaling Jaya,Malaysia.

移動の様子をご覧ください。



































カテゴリ: post by 引率スタッフ | 日時: 2012.06.06 | <u>パーマリンク</u> | <u>コメント (の</u>) | <u>トラックパック (の</u>)

<u>海外フィールドワーク引率ブログ2012</u> > 2012年06月 アーカイブ

Day 79, Petaling Jaya, Malaysia

Tweet

Check



引率 富田です。

This is TOMITA from Singapore.

スクーリングでの合評の様子をお伝えします。

韓国から始まった海外フィールドワークの前半戦で各自が撮影した写真をまとめ、 全員の前で発表していきます。

先生方の意見を伺いながら、後半戦に向けて作品の方向性を見極めていく重要な時間です。

The third day of the schooling was the day of the examination.

一人目は池田くん。

The first was Ikeda.







学生たちも、お互いの写真について意見をぶつけ合います。





二人目は井関さん。

The second was Iseki.

















3人目の谷瀬さん。 The third was Tanise.























最後は長山さん。















翌日の個人面談と合わせ、各自がしっかりと自分の写真と自分自身に向き合った スクーリングでした。

インドからの後半戦、彼らの写真がどう変化していくのか、とても楽しみです。

They have faced with their own photos and themselves over this schooling days. I look forward to their photos of latter half of Field Work.



カテゴリ: post by引擎スタッフ | 日時: 2012.06.05 | <u>パーマリンク</u> | <u>ユメント (0)</u> | <u>トラックバック (0)</u>

Copyright 2012 All rights reserved NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

powered by OLYMPUS